

IGNIS

2020年9月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社イグニス (コード : 3689)

INDEX

01 / 決算概要

02 / 事業トピックス

03 / 参考資料 (Appendix)

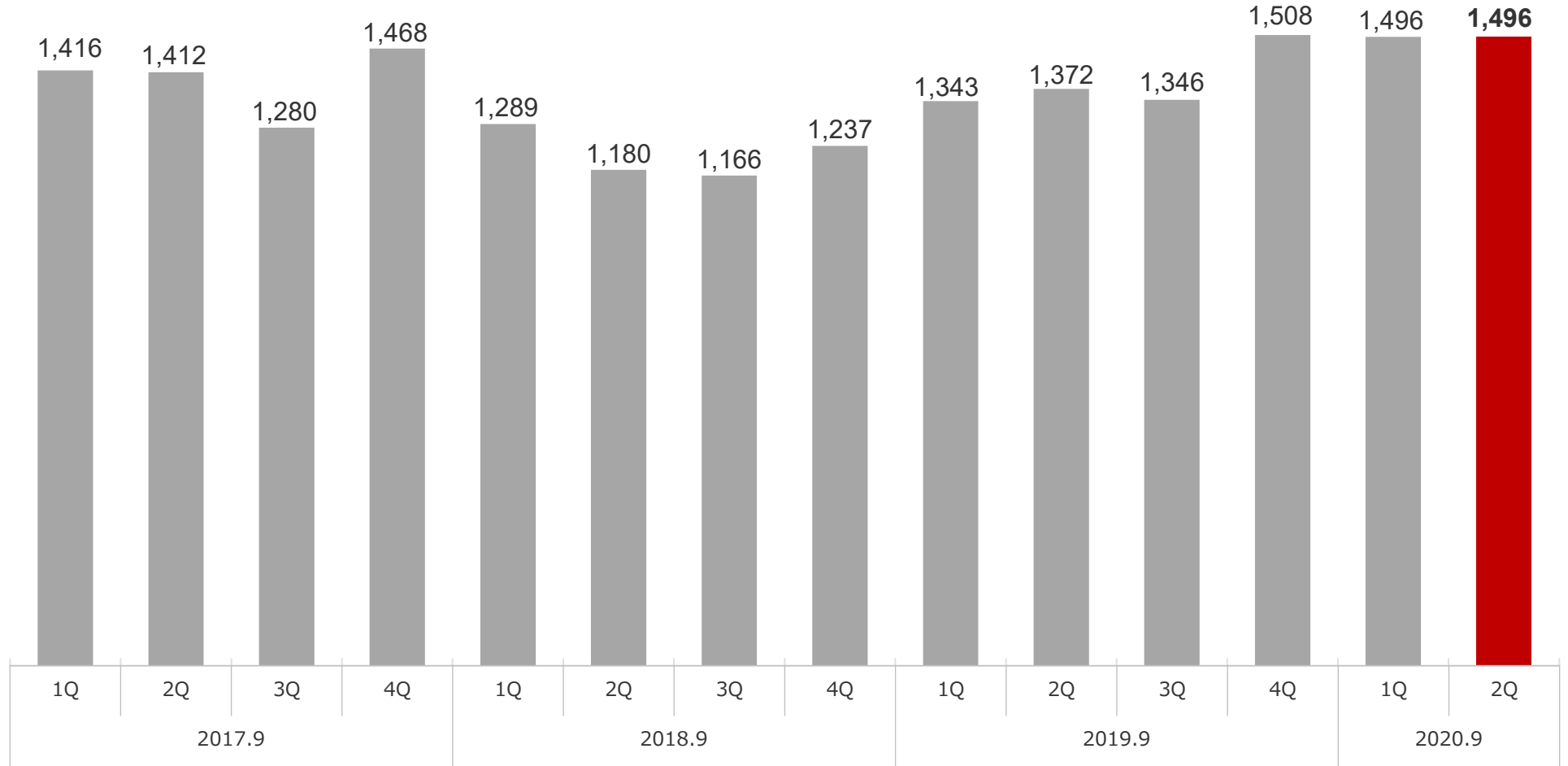
01 / 決算概要

2020.9期2Q決算サマリー

連結業績	順調に推移	売上高 :	2,992百万円	前年同四半期比 :	110.2%
		営業利益 :	142百万円	前年同四半期 :	△514百万円
マッチング	『with』の事業KPIは堅調	売上高 :	1,920百万円	前年同四半期比 :	142.7%
		営業利益 :	617百万円	前年同四半期比 :	209.1%
エンターテック	『INSPIX WORLD』の開発費等積極的な事業投資を継続	売上高 :	148百万円	前年同四半期比 :	637.4%
		営業利益 :	△706百万円	前年同四半期 :	△642百万円
ゲーム	主に『ぼくドラ』が寄与。なお、3/2で『ぼくドラ』『猫ドラ』をドリコムへ譲渡	売上高 :	878百万円	前年同四半期比 :	68.6%
		営業利益 :	297百万円	前年同四半期比 :	390.3%
その他	求人サービス、その他のサービスが売上寄与の一方、医療機関向けSaaS等は事業投資中	売上高 :	45百万円	前年同四半期比 :	68.4%
		営業利益 :	△67百万円	前年同四半期 :	△243百万円

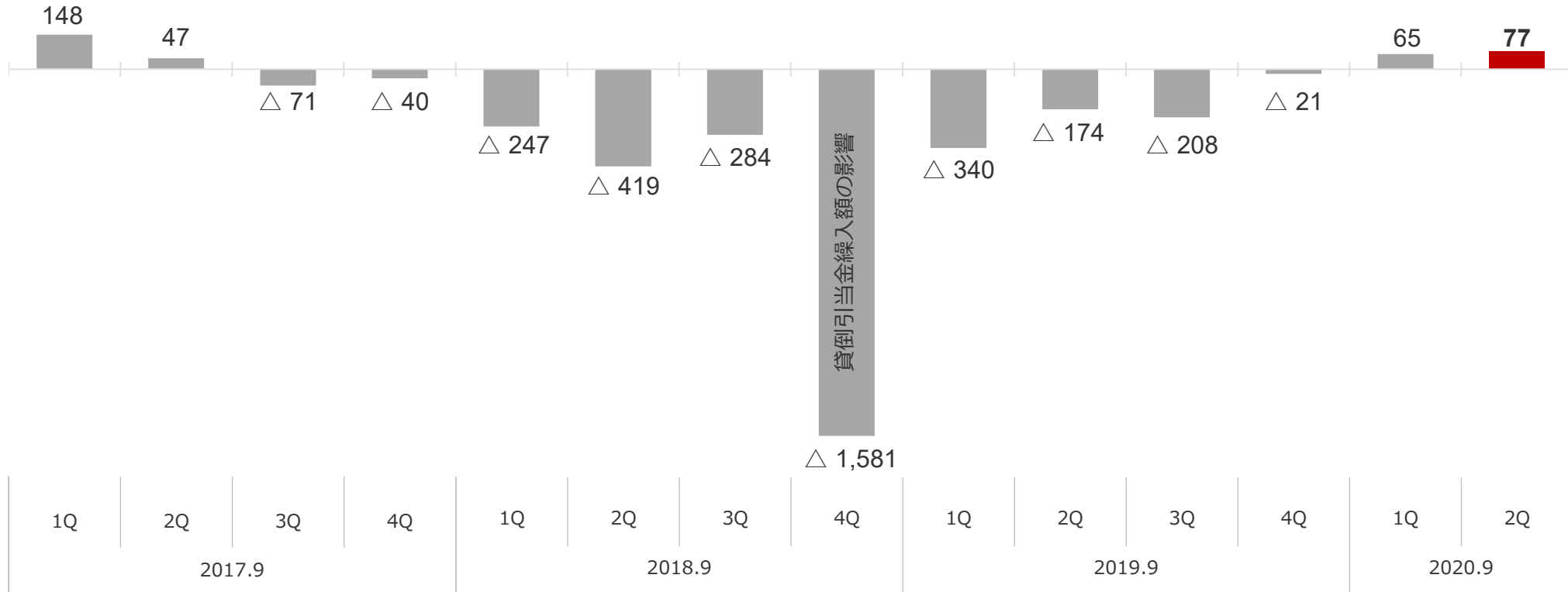
連結売上高の推移（会計期間）

(単位：百万円)



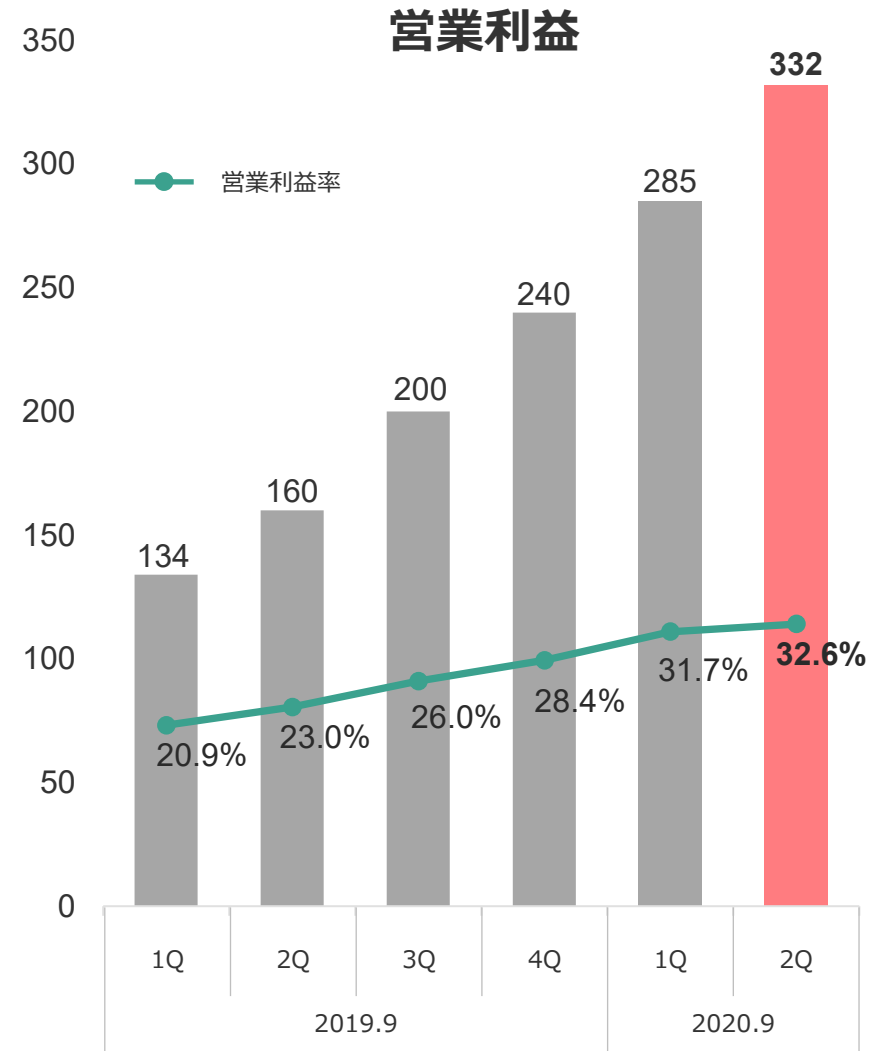
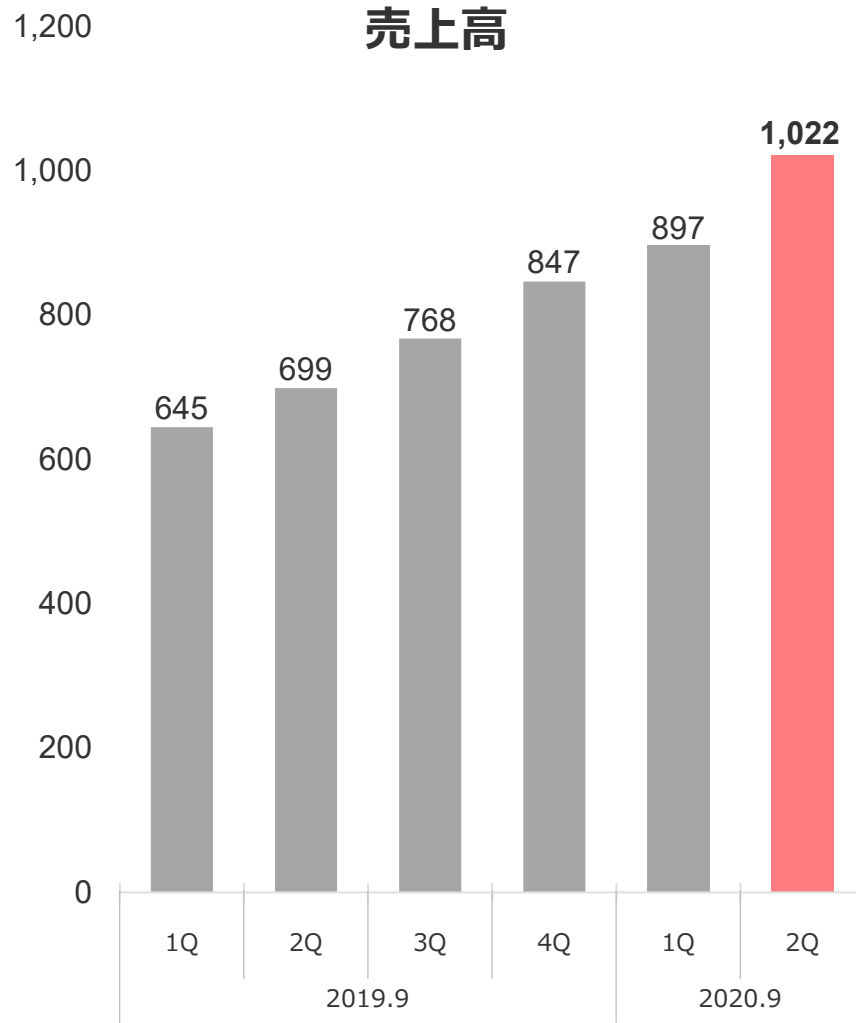
連結営業利益の推移（会計期間）

（単位：百万円）



マッチング 売上高・営業利益

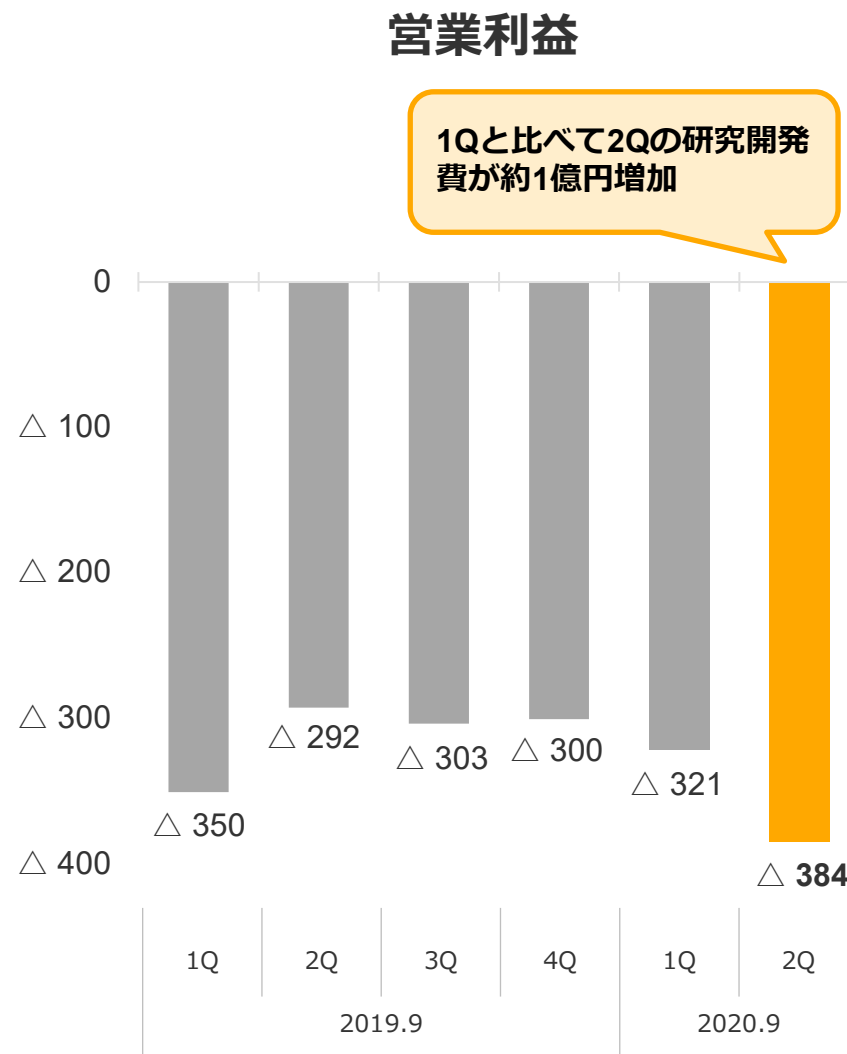
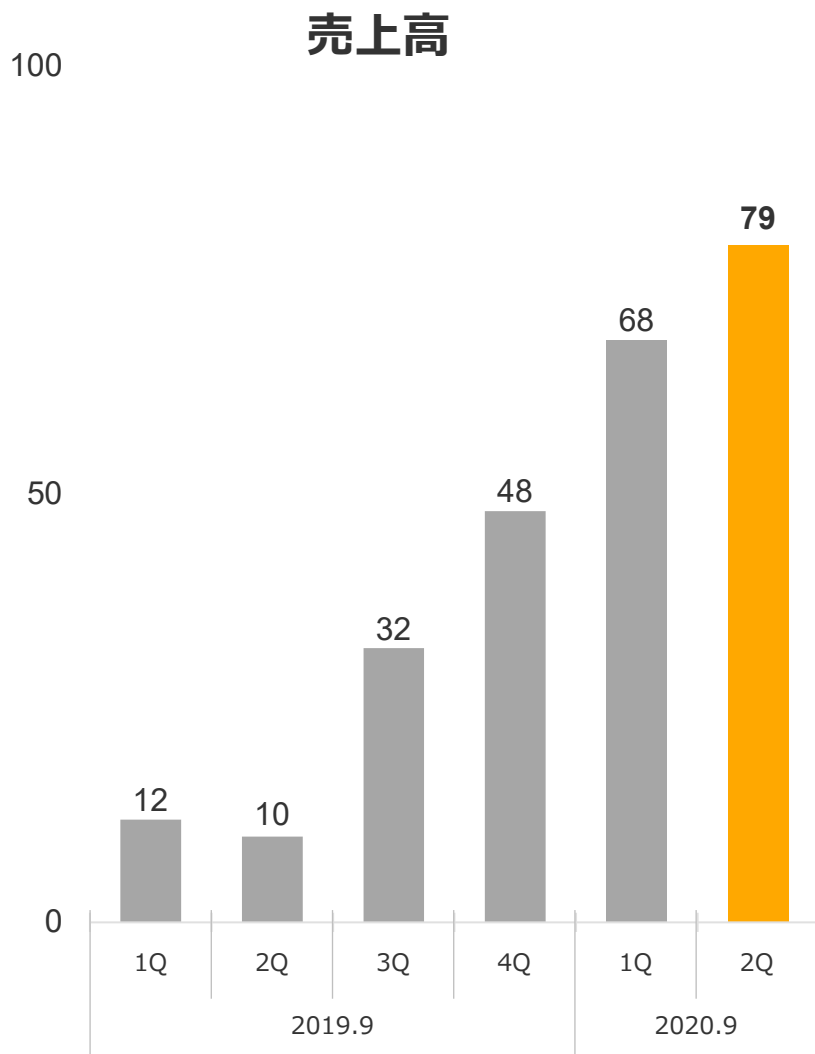
(単位：百万円)



※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

インターテック 売上高・営業利益

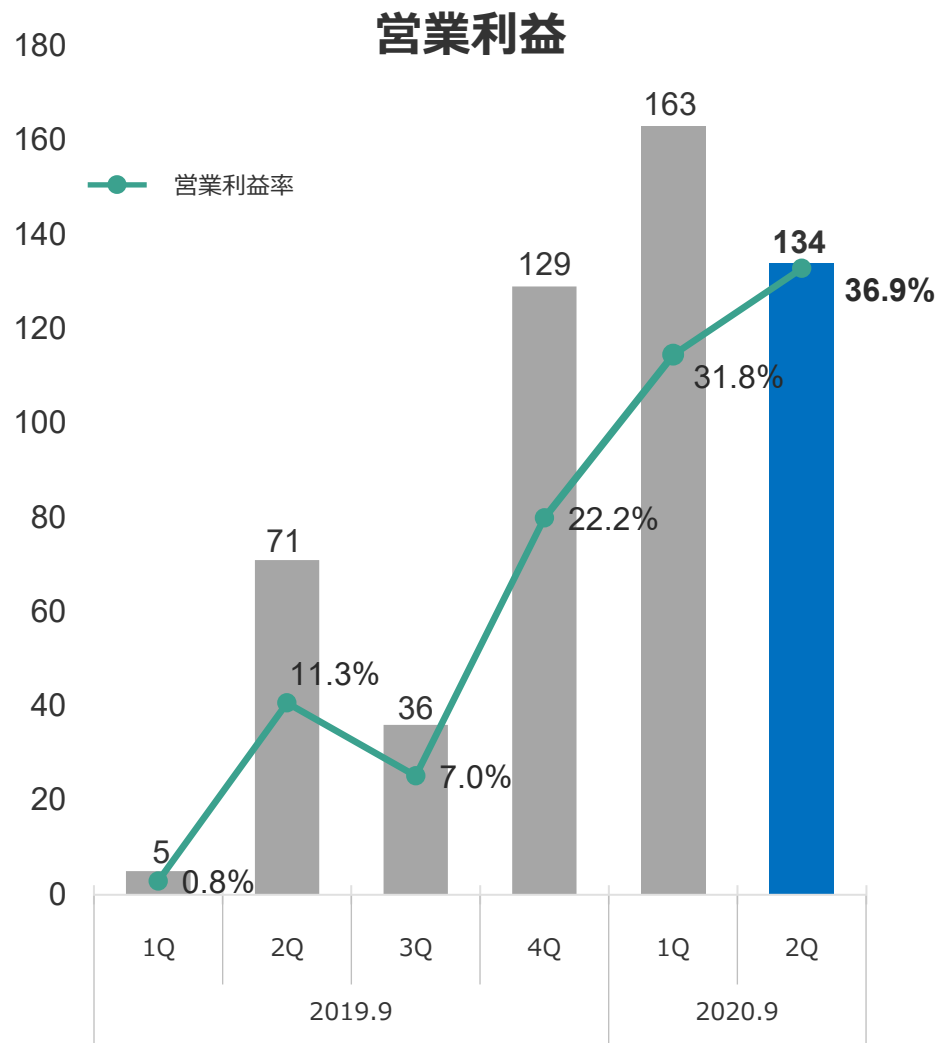
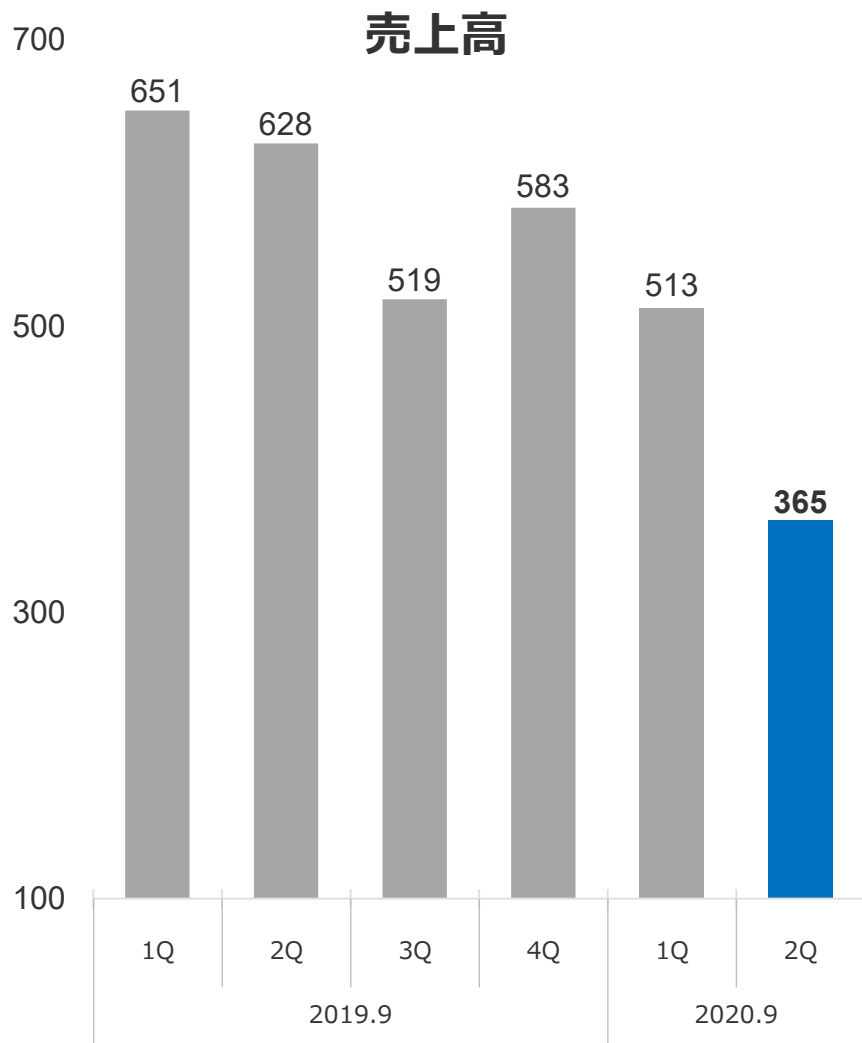
(単位：百万円)



※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

ゲーム 売上高・営業利益

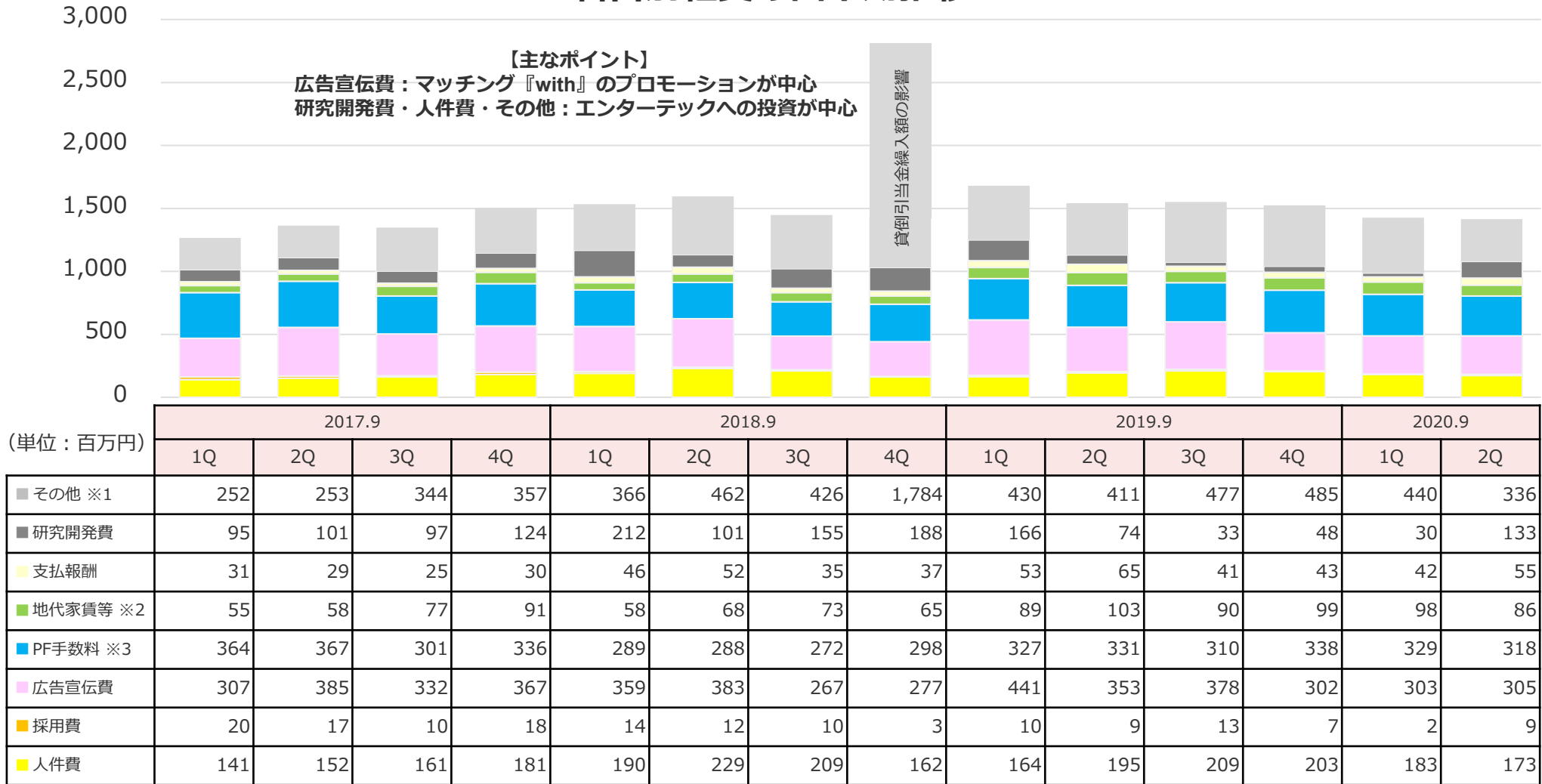
(単位：百万円) ※2020年3月2日付で事業譲渡が完了したため、下半期以降は『ぼくドラ』『猫ドラ』の売上は含みません



※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

経費についての分析

科目別経費の四半期推移



※1 「その他」には貸倒引当金繰入額を含んでいます。

※2 本社設備に係る減価償却費を含んでいます。

※3 Apple, Google等に対するプラットフォーム手数料です。

連結P/L (累計期間 2019.10~2020.3)

(単位：百万円)

	2019.9 2Q累計 10~3月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 2Q累計 10~3月	売上高構成比 及び利益率	前年同期比	2020.9 通期計画 (修正計画)
売上高	2,715	100.0%	2,992	100.0%	110.2%	5,000
マッチング	1,345	49.5%	1,920	64.2%	142.7%	
エンターテック	23	0.9%	148	4.9%	637.4%	
ゲーム	1,280	47.1%	878	29.4%	68.6%	
その他	67	2.5%	45	1.5%	68.4%	
営業利益 (損失△)	△514	-	142	4.8%	-	
マッチング	295	22.0%	617	32.2%	209.1%	
エンターテック	△642	-	△706	-	-	
ゲーム	76	6.0%	297	33.9%	390.3%	
その他	△243	-	△67	-	-	
営業外損益 (損失△)	△44	-	△96	-	-	
経常利益 (損失△)	△559	-	45	1.5%	-	
特別損益 (損失△)	324		67		20.9%	
税引前四半期純利益 (純損失△)	△234		113		-	
法人税等	223		288		129.4%	
四半期純利益 (純損失△)	△454	-	△175	-	-	

※2020.9月期1Qより報告セグメントの区分を変更しています。

※2019.9月期セグメント別の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

※営業外費用において、株式会社ロビット及び株式会社Mellowに係る持分法による投資損失を計上しています。

※特別利益は主に株式会社Mellowの増資に伴う持分変動利益192百万円、関係会社株式売却益34百万円、特別損失は主に投資有価証券評価損150百万円を計上しています。

※エンターテックの主体が連結納税対象外の法人であり、連結納税の対象法人では課税所得が発生するため、法人税等が多額に発生しています。

連結P/L (会計期間)

(単位：百万円)

	2019.9 2Q会計 1~3月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 1Q会計 10~12月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 2Q会計 1~3月	売上高構成比 及び利益率	前年同期比	前四半期比
売上高	1,372	100.0%	1,496	100.0%	1,496	100.0%	109.0%	100.0%
マッチング	699	51.0%	897	60.0%	1,022	68.3%	146.0%	113.8%
エンターテック	10	0.8%	68	4.6%	79	5.3%	769.5%	115.7%
ゲーム	628	45.8%	513	34.3%	365	24.4%	58.1%	71.2%
その他	33	2.4%	16	1.1%	29	2.0%	88.4%	179.6%
営業利益 (損失△)	△174	-	65	4.3%	77	5.2%	-	119.1%
マッチング	160	23.0%	285	31.7%	332	32.6%	206.9%	116.8%
エンターテック	△292	-	△321	-	△384	-	-	-
ゲーム	71	11.3%	163	31.8%	134	36.9%	189.1%	82.5%
その他	△114	-	△61	-	△5	-	-	-
営業外損益 (損失△)	△23		△46		△50		-	-
経常利益 (損失△)	△197	-	19	1.3%	26	1.8%	-	139.7%
特別損益 (損失△)	322		△0		68		21.1%	-
税引前四半期純利益 (純損失△)	125		18		94		75.5%	505.1%
法人税等	167		89		198		119.0%	221.1%
四半期純利益 (純損失△)	△38	-	△71	-	△104	-	-	-

通期連結業績予想の修正

通期連結業績予想を上方修正

売上高 当初予想 40億円 → 修正予想 50億円

主な理由

マッチング事業の『with』が伸長
ゲーム事業の譲渡前の売上高計上

売上高が当初予想を上回る見込み
当初予想に織り込んでいなかった

利益 利益予想に関しては引き続き非公開

主な理由

エンターテック事業における今後の売上高や事業投資について不確定要素があるため

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、現時点で想定できる範囲の影響を加味しております。

02

事業トピックス

主な事業の取り組み・状況

マッチング

- ・ 独自機能投下加速
- ・ 広告費回収効率高水準

エンターテック

- ・ 「INSPIX WORLD」開発中
- ・ 「初音ミク」VRライブ開発中
- ・ その他他社IP VRライブ開発中
- ・ 新プロジェクト「PH」始動

ゲーム

- ・ 事業譲渡完了

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

主な事業への影響

マッチング

- ・ 事業KPIに大きな変化無し
⇒アクティブユーザー数等の数値は順調に推移
⇒事業進捗・業績影響は軽微

エンターテック

- 【IP関連】
 - ・ 子会社『VOYZ ENTERTAINMENT』のイベント延期・中止・内容変更が決定（現状5月まで）
⇒代替イベント（オンライン配信）等を実施：業績影響は軽微
- 【プラットフォーム】
 - ・ 「INSPIX WORLD」へのアップデート開発は在宅勤務推奨により、生産性は若干低下
⇒事業推進上・業績影響は軽微

注) あくまで現時点における状況です。

事態の収束時期など不確定要素が多いため、今後、事業・業績への影響がある場合は速やかにお知らせします。



マッチング

『with』

下半期も独自機能投下

3月末現在
290 万人
突破
前年同期比
+ 166 %



独自機能の追加

with
婚活・恋活マッチングアプリ

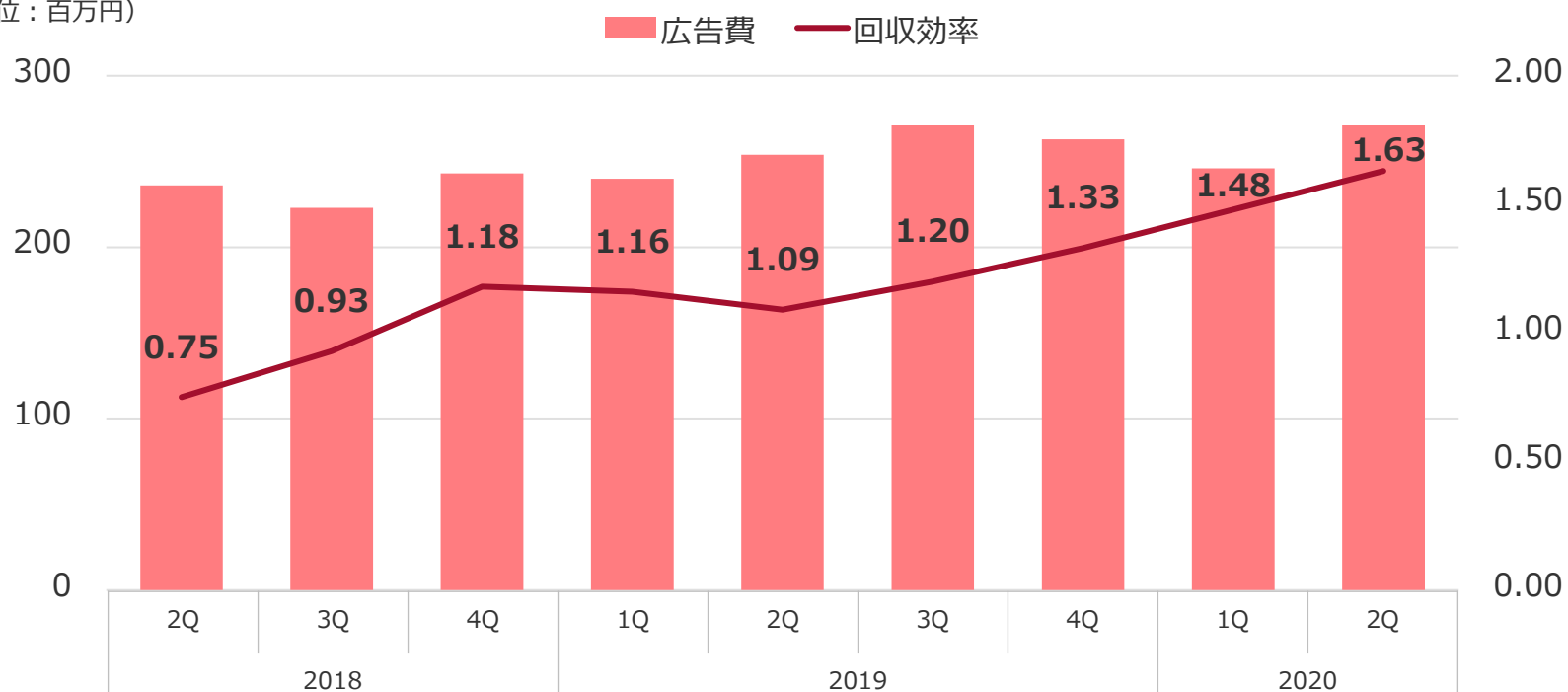


マッチング

『with』

非常に高水準な広告費回収効率

(単位：百万円)



十分な利益を確保できる回収効率を基準値(= 1)と設定。上記グラフの水準で広告費を投下しても回収効率が基準値を下回らない運用に成功している。※通常広告費が多ければ多いほど回収効率は悪化しやすい。

さらに、昨年から内部KPIが改善し基準値を大きく上回る回収効率となっている。

過剰に回収効率がいい状態は、自らの成長速度にブレーキをかけているのに等しく適切ではないため広告費を見直す予定。

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開

「初音ミク」VRライブまもなく情報解禁



初音ミク
HATSUNE MIKU

INSPIX
WORLD

5/21 情報解禁

※具体的な内容につきましては、当日版元様の公式SNS等からご案内します。

※上記はあくまで現時点における予定であり、内容・時期等を確認するものではありません。
今後、様々な理由により変更になることがあります。

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開

新しい開発パートナーが参画

BANDAI
NAMCO

BANDAI NAMCO Arts

BANDAI
NAMCO

Live Creative

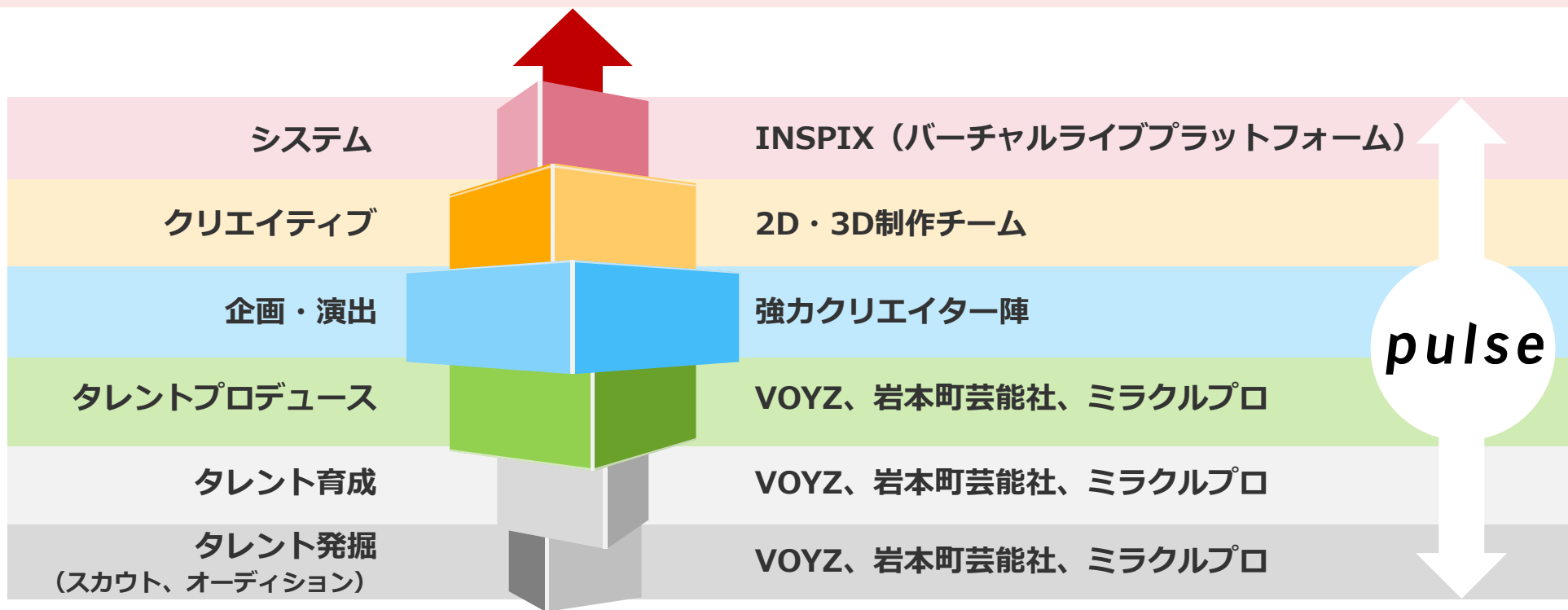
INSPIX
WORLD

注) 現時点においての情報は、5/12公表のプレスリリースをご参照ください。それ以外の情報は、順次お知らせする予定です。

エンターテック

理想的な事業構造

音楽体験の、次のあたりまえを創る



垂直統合型の事業構造とすることで
バーチャルライブの普及を推進 (プラットフォームを強化)

投資比率

プラットフォームとIPに均等に投資

プラットフォーム



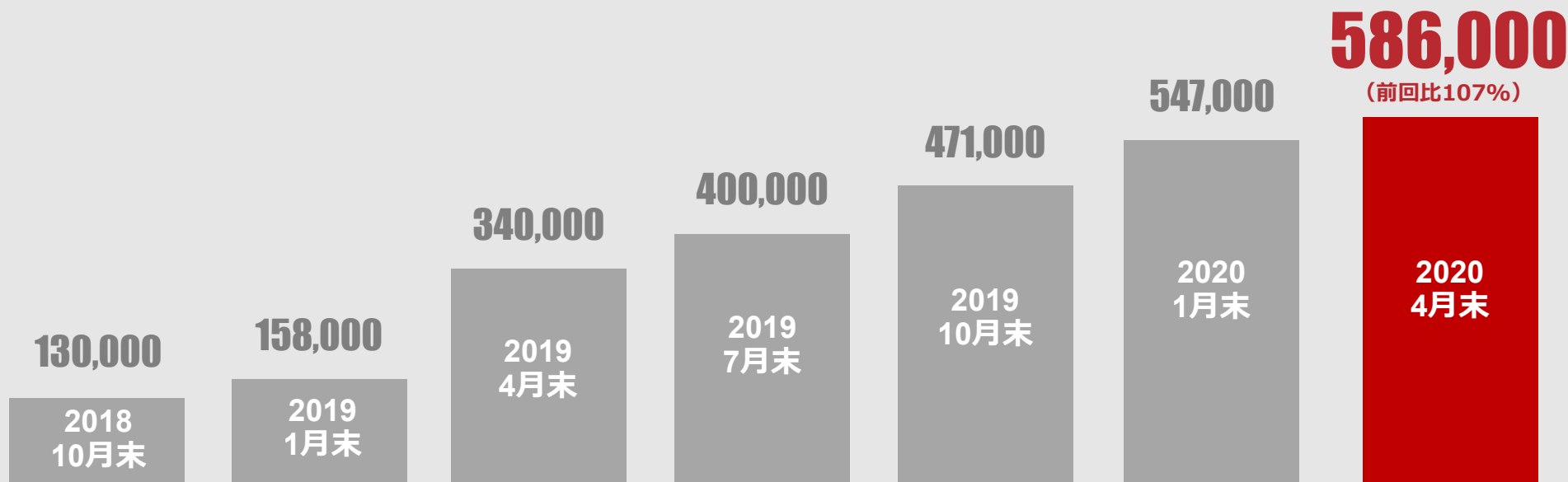
X

IP



ファン（フォロワー）数をKPIとしてモニタリング

自社関連IPのSNS等累計フォロワー数※



順調に推移

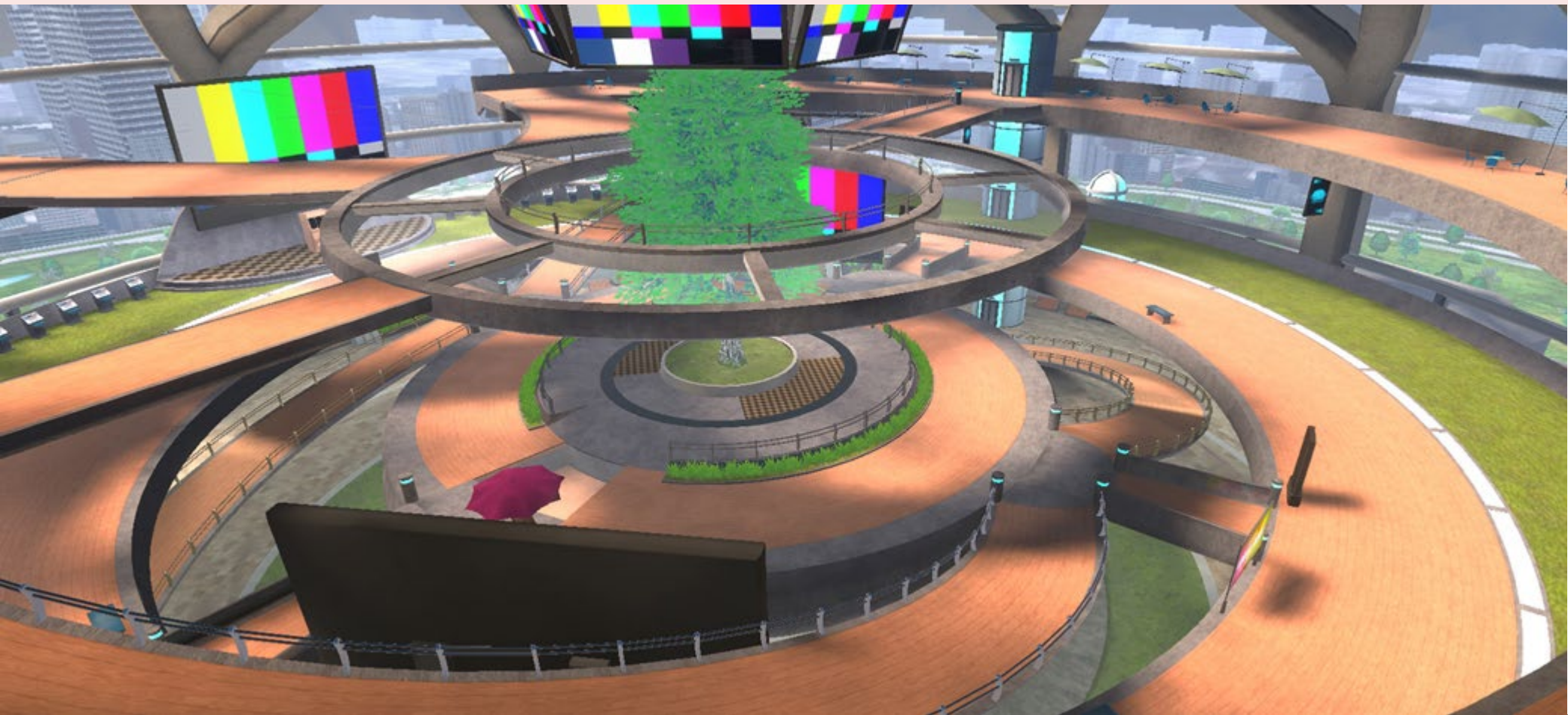
※SNS等累計フォロワー数：Twitter、Instagram、YouTube、ファンクラブ、その他のフォロワー数+登録数です。

※SNS等累計フォロワー数は2020年4月末時点のものです。

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム

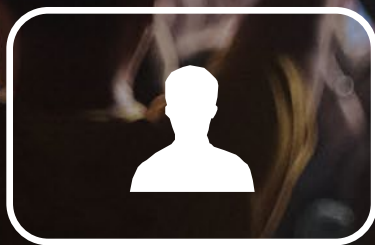
「INSPIX WORLD」 鋭意開発中



その他

新プロジェクト始動

オンライン接近イベントシステム「PH」(仮)
開発開始 2020年夏公開目標

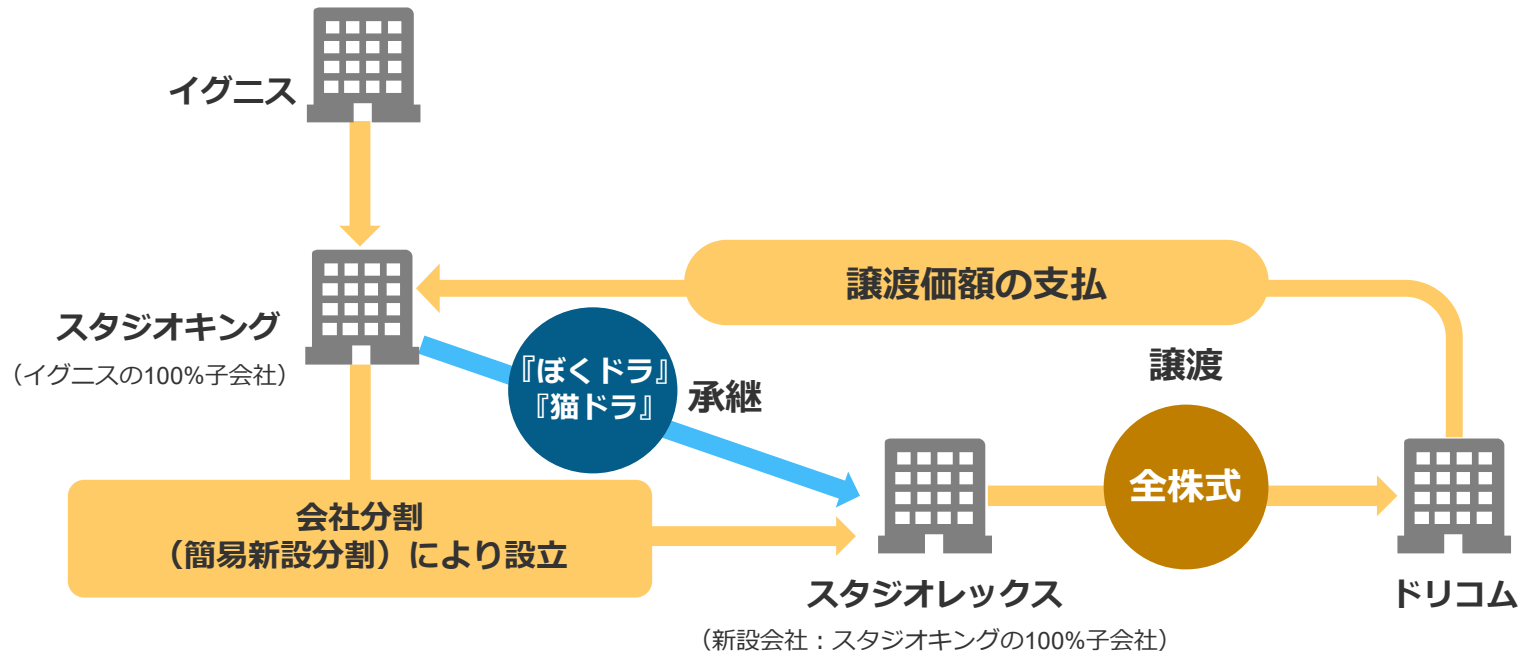


ポストコロナにおける新しいエンタメの形

「INSPIX」運営で培ったノウハウを最大限活用

ゲーム

ゲーム事業（『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』）の譲渡完了



譲渡の概要

譲渡価額（総額）539百万円※

会計処理の概要

特別利益計上予定
具体的な利益影響は
判明次第開示

※5/11開示の通り、譲渡価額（総額）が調整されました。

ゲーム

ゲーム事業（『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』）の譲渡完了

譲渡価額
（総額）

3/2の開示段階より、譲渡価額（総額）が調整されました。

520百万円
（前回公表）



539百万円
（今回公表）

※調整内容の詳細は譲渡先との取引の都合上、非公開とさせていただきます。

会計処理の
概要

譲渡に伴い、関係会社株式売却益34百万円を特別利益に計上。

※譲渡に伴う負債が生じておりますが、将来的に一定の要件を充たすことで当該負債は消滅し、消滅に伴う特別利益を計上する見込みです。

その他・医療機関向けSaaS

医療機関向けSaaS『FOREST』の戦略について

オンライン診療ポータルサービス



初期は強烈に体験がいいニッチな領域特化



大量の医療機関とお付き合いする



初期パートナーと深く組み価値創造



システム提供企業に徹する

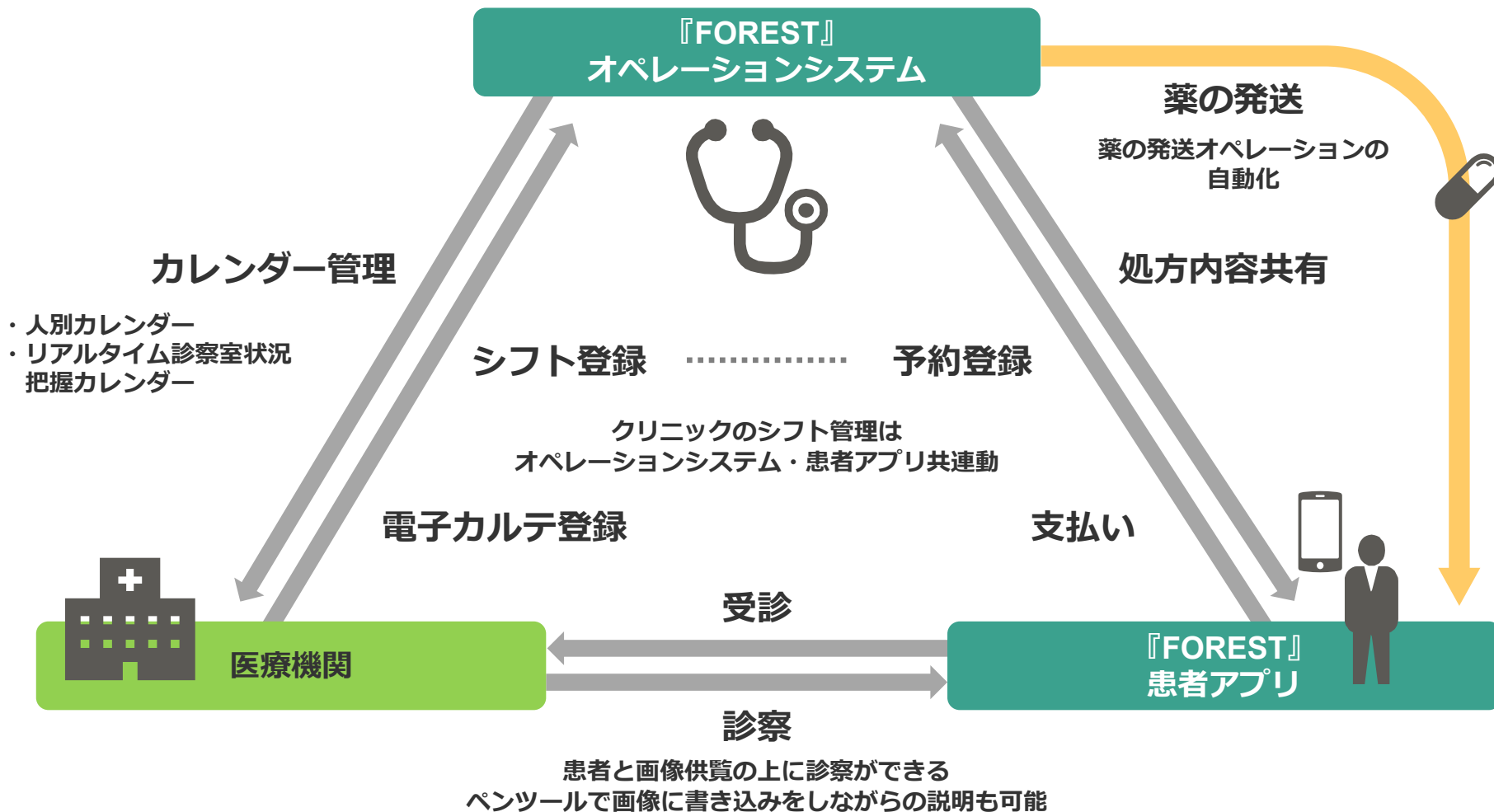


パートナーが成功するためにできることは全部やる



その他・医療機関向けSaaS

オンライン診療対応の医療機関向けSaaS『FOREST』

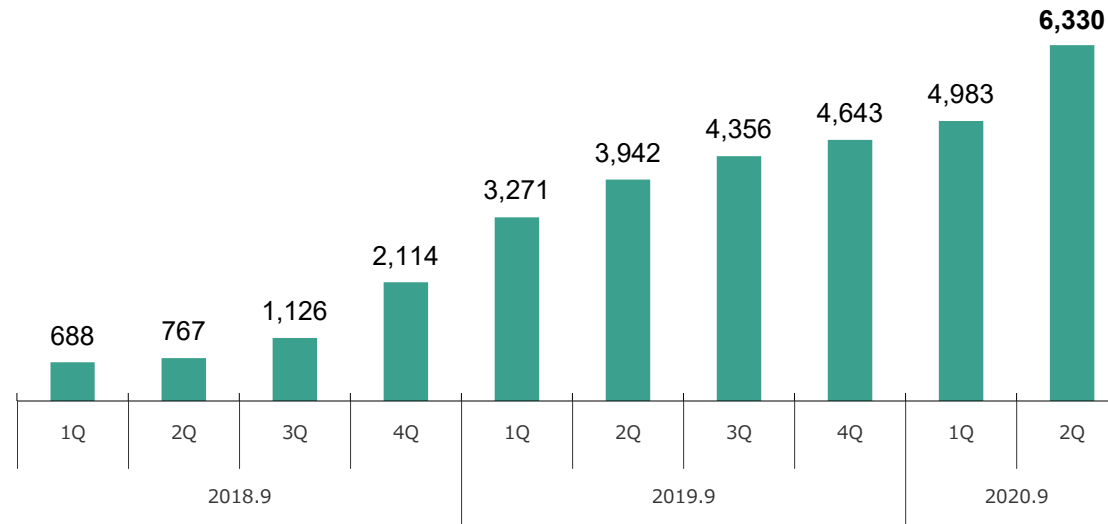


その他・医療機関向けSaaS

オンライン診療対応の医療機関向けSaaS

『FOREST』急成長

『FOREST』導入医療機関の
オンライン診療利用患者様数推移（四半期ベース）



初診からのオンライン診療が2020年4月に解禁

その他・医療機関向けSaaS

今後、債権回収が進むことで売上、利益貢献する見込み

当事業に関する現状の会計処理

FOREST利用料 等による 売上債権、 長期未収入金、 営業貸付金	貸倒引当金 計上不要	債権回収が見込めるため、 貸倒引当金は <u>計上して</u> <u>いない</u>
	貸倒引当金 計上済 (約15億円)	債権回収に不確実性が存在 するため、 貸倒引当金を <u>計上</u>
売上債権 未計上分	※1 債権回収に不確実性が存在するため、 <u>売上及び債権を計上していない</u>	

今後の債権回収時 の会計処理 ※2

【債権回収】 (借) 現預金	(貸) 債権
【債権回収】 (借) 現預金	(貸) 債権
【貸倒引当金の戻入】 (借) 貸倒引当金	(貸) 貸倒引当金繰入
【売上計上】 (借) 現預金	(貸) 売上

※1 2018年9月期4Qに計上した貸倒引当金となります。

※2 現時点における会計処理の想定となります。実際の会計処理は変更になる可能性があります。

持分法適用関連会社の情報



AI分野



AI技術を活用した外観検査装置 及びピッキングソリューション

現場導入進む



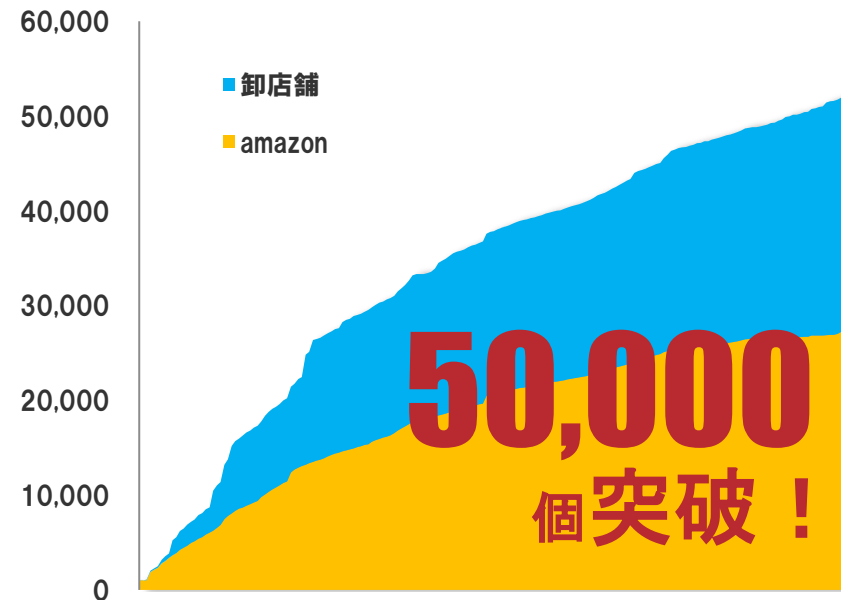
※写真は株式会社ロビットのオフィス・工場です。

販売個数は堅調に増加 各種メディアでも多数紹介



累計販売個数

単位：個



※ 『mornin' plus』を展開する株式会社ロビットは持分法適用関連会社です。
※ 『mornin'』 + 『mornin' plus』販売個数推移（週ベース累計）2020年4月末時点。



第三者割当増資により 総額約5億円の 資金調達を実施

※『TLUNCH』を運営する株式会社Mellowは持分法適用関連会社です。

その他 財務等

今後の資金調達に関する方針、財務戦略等

- ・ マatching事業を中心に財務体質を改善
- ・ 2020年は既存のファイナンススキーム（ドイツ銀行割当新株予約権）を除き、新たに希釈化を生じさせるスキームを組まない

2Q決算発表まとめ

当期業績

- 通期業績予想を上方修正
- マatching事業の営業利益拡大

今後の 注目ポイント

- 医療機関向けSaaSにかかる債権回収を図る
- 「INSPIX WORLD」の開発進捗
- オンライン接近イベントシステム「PH」
- 各種IPによるVRライブ実施

その他

- 新型コロナウイルス感染症拡大による、事業・業績への影響は軽微



「次のあたりまえを創る。何度でも」

03

**参考資料
(Appendix)**

經營方針

セグメント情報

事業環境の変化等に対応するため経営管理手法を見直したことにより、2020年9月期1Qより報告セグメントの区分を変更

変更前	変更後
スマートフォンアプリ	マッチング 恋愛・婚活マッチングサービス『with』
	エンターテック 音楽体験の、次のあたりまえを創る ①バーチャルライブアプリ『INSPIX LIVE』（プラットフォーム） バーチャルライブプラットフォームの企画・開発・運営 ②タレント『VOYZ BOY』『学芸大青春』等 IP展開（発掘・育成・プロデュース）
	ゲーム スマートフォン向けゲーム&ブラウザゲーム 『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』等
	その他 求人サービス『jobgram』 医療機関向けSaaS『FOREST』 VR医療『うららかVR』 その他、報告セグメントに含まれない事業セグメント

※ 『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』は2020年3月2日をもって株式会社ドリコムに事業譲渡いたしました。

2020年までの事業方針

「安定感のある事業ポートフォリオを構築」

爆発力のある事業の推進

積み上げ型の強固な事業基盤

イグニス成長戦略

マッチングとエンターテック
の成長にご注目ください

コア
事業

当面は
エンターテック

爆発力

積み上げ型の事業と爆発力のある事業
それぞれのコアとなる事業に
集中的に経営資源を投下し、
成長・拡大を目指す

積み上げ型

コア
事業

当面は
マッチング

各事業の方針

マッチング

恋愛・婚活マッチングサービス
独自機能を次々に投下する。

エンターテック

プラットフォームと自社IPの企画・開発・運営
音楽体験を変える。
コンテンツとシステム双方を保有する垂直統合型事業を目指す。

ゲーム

スマートフォン向けゲームアプリ・ブラウザゲーム
当面は新規開発凍結。他事業に注力。
『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』の譲渡。(2020年3月2日)

その他

求人サービス、医療機関向けSaaS、VR医療等
技術力と創造力を組み合わせることで
魅力的な新規事業を創造し続ける。

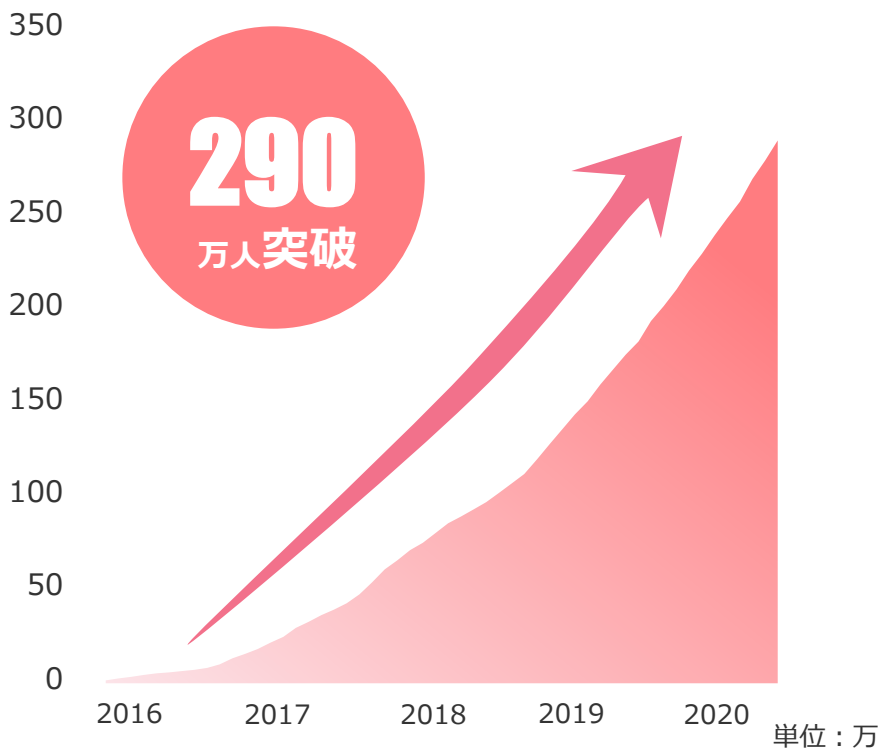
事業展開



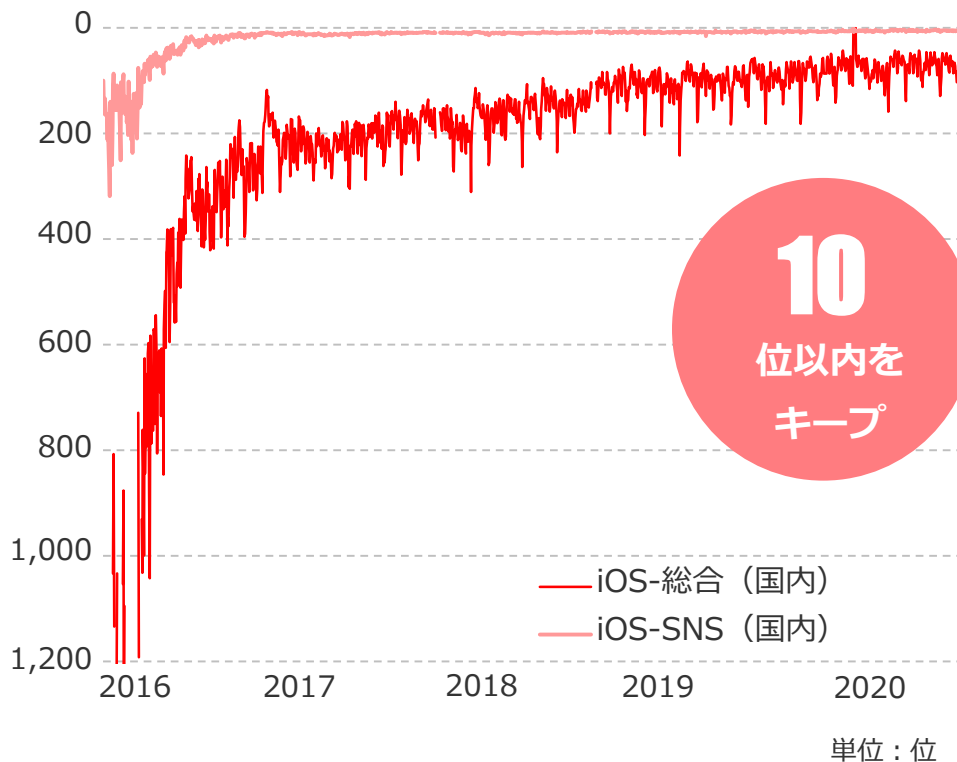
マッチング『with』

ユーザー数と売上ランキングの推移

ユーザー数推移（累計）



売上ランキング推移



※『with』のユーザー数推移は2020年3月末時点。
※『with』の売上ランキング推移は2020年4月末時点。

出典：App Annie



INSPIX WORLD

『INSPIX LIVE』のアップデート版

豊富な機能



アバター機能

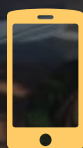


フレンド機能



特設ワールド

マルチデバイス対応



多彩な初期開発パートナー

CRUPTON

MAPPA

EVILLINE
RECORDS



High Speed Boyz

猫耳FM

INCS
toenter

BANDAI
NAMCO
BANDAI NAMCO Arts

BANDAI
NAMCO
Live Creative

「VRでの音楽ライブ体験+VRソーシャル機能」で進化する『INSPIX WORLD』が
音楽体験の、次のあたりまえを創る

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開

Virtual Live Platform『INSPIX』の競争力

3つの特徴と2つの独自性で、現状のバーチャルライブがかかえる課題を解決

特



スマホ対応
〔どこからでも
手軽に参加〕

特



ライブ感溢れる
リアルタイム性

特

同時接続数



53

万人突破

圧倒的な
接続上限数

+

独



優れた人財
〔エンジニア
プロデューサー〕

独

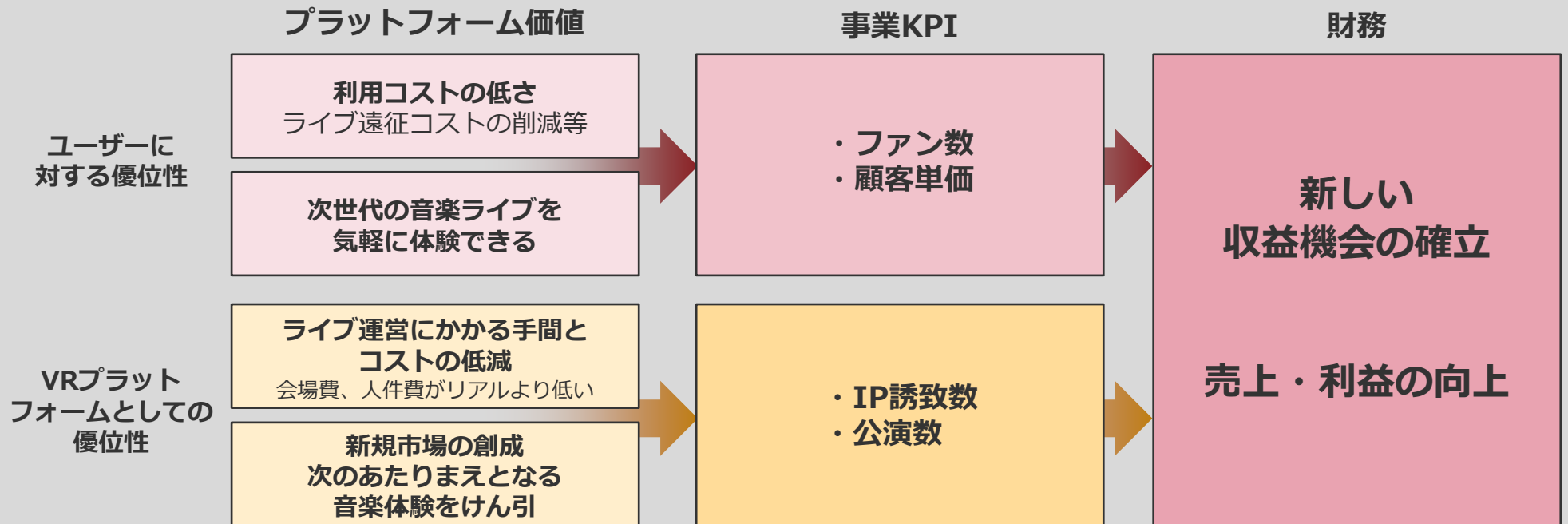


IP保有企業との
コネクション

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開

Virtual Live Platform 『INSPIX』の価値創造

様々な環境・端末で同時生配信を可能にする次世代の体験



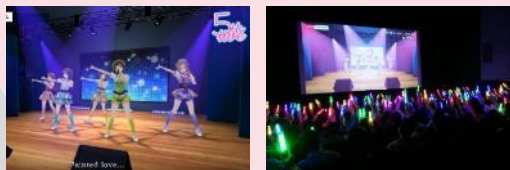
複合的なエンタメプラットフォームとして、VR(エンターテインメント)市場で確固たる地位を確保

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開 Virtual Live Platform『INSPIX』への事業投資による企業価値向上

利用しやすさ、独自性でシェアを高め、利益を最大化しながら
プラットフォームの価値を高めるため継続的に投資を行う

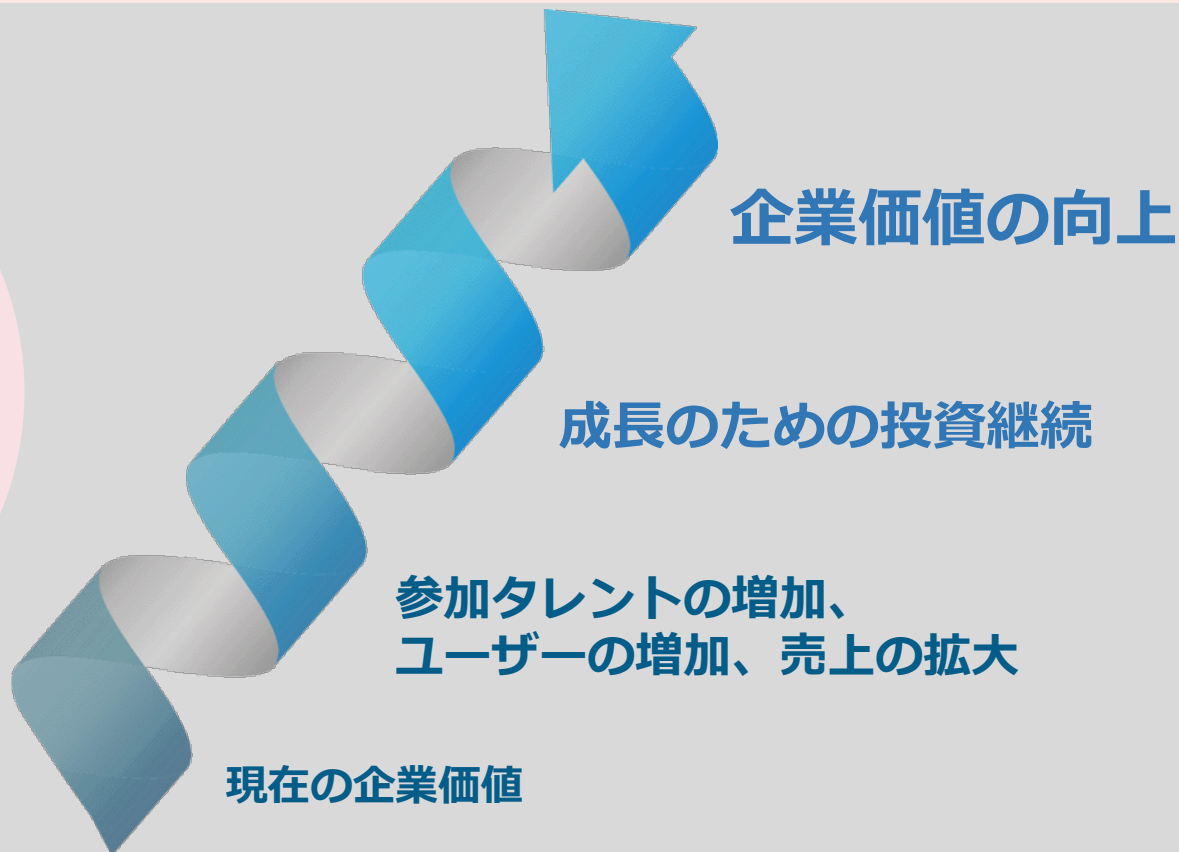


スマホ (+VR-HMD) で



モニター画面で

イベント会場で



バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開



『INSPIX WORLD』の最重要市場は中国

世界最先端ライブ特化型
仮想空間SNSを開発

特殊な社長

- ・ 中国国籍
- ・ 日本のコンテンツで育つ
- ・ 国内IP・コンテンツ業界との強いパイプ

日本のIPを誘致

日本のトップクリエイターと
新規IPを開発

高いポテンシャルを持つ
新しいマーケット

パルスは圧倒的な競争力を保有

VRを用いた慢性疼痛緩和の臨床研究に関するプロジェクト 医療用VRシステム『うららかVR』のパイロット提供開始

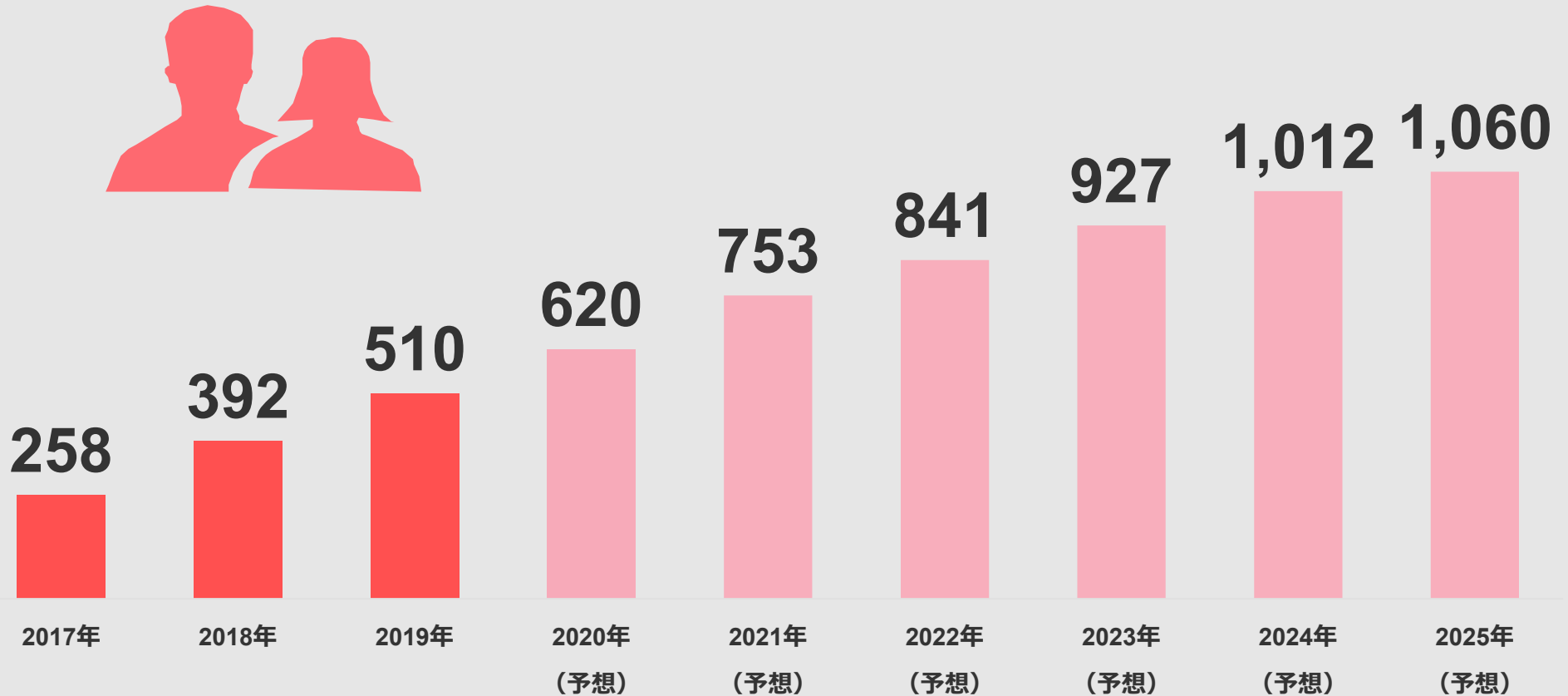


順天堂大学との共同研究に関する特許出願

各種マーケット情報

各種マーケット情報

国内オンライン恋活・婚活マッチングサービス市場規模



単位：億円

各種マーケット情報

VRで新たな音楽体験を創出する（市場ポテンシャル）

国内音楽ライブ市場規模

現実の音楽ライブのニーズは依然強いが
市場規模は伸び悩み傾向

(単位：億円)



会場不足の問題
(老築化・閉鎖等)

VRで
音楽体験が変わる



VR音楽ライブ市場の可能性（仮説）

VRによる音楽ライブが
「次のあたりまえ」になる

今後のマーケット
拡大余地は大きい

(2018年)
Vtuber等の
活動が加速

ほぼ、ゼロベースから
マーケットが確立されてくる



※Vtuber：Virtual YouTuber

※出典：びあ総研&ライブ・エンタテインメント白書協会（ジャンル：音楽のみのライブ市場）

連結B/S (2017.9 ~ 2020.9.2Q)

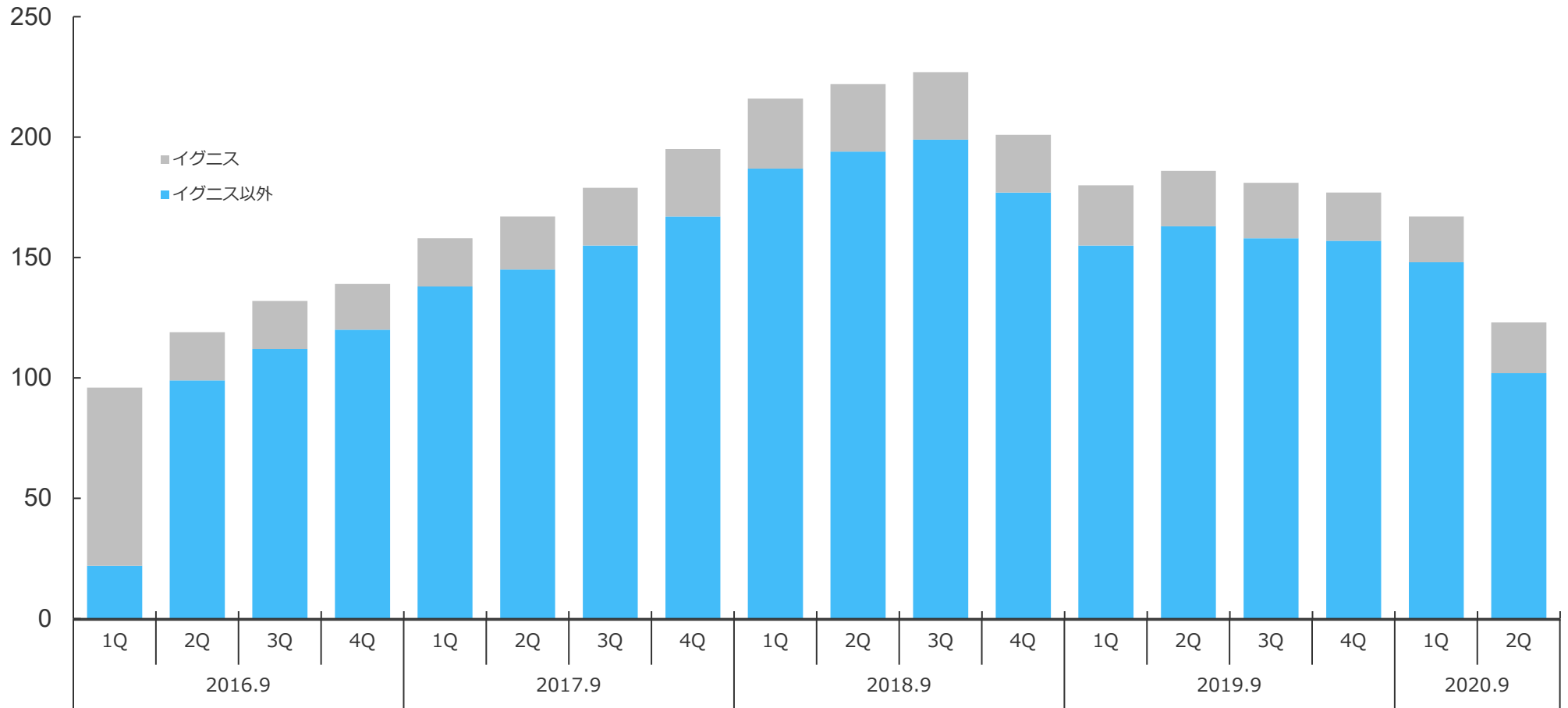
(単位：百万円)	2017.9	2018.9	2019.9	2020.9.2Q
流動資産	4,736	1,901	1,715	2,295
固定資産	1,554	2,753	2,240	1,982
総資産	6,291	4,654	3,956	4,277
流動負債	1,395	1,825	1,309	1,501
固定負債	760	556	380	674
純資産	4,135	2,272	2,266	2,101
負債・純資産	6,291	4,654	3,956	4,277

連結P/L (会計期間 2017.9 ~ 2020.9.2Q)

(単位：百万円)

	2017.9				2018.9				2019.9				2020.9	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,416	1,412	1,280	1,468	1,289	1,180	1,166	1,237	1,343	1,372	1,346	1,508	1,496	1,496
営業利益 (損失△)	148	47	△71	△40	△247	△419	△284	△1,581	△340	△174	△208	△21	65	77
営業利益率	10.5%	3.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3%	5.2%
経常利益 (損失△)	136	48	△72	△41	△250	△423	△305	△1,592	△361	△197	△248	△60	19	26
経常利益率	9.6%	3.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3%	1.8%
四半期純利益 (純損失△)	67	24	△81	△46	△233	△622	△228	△1,567	△416	△38	95	△272	△71	△104
純利益率	4.8%	1.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1%	-	-	-

従業員数推移



※1：2016.9期2Qより社内体制の変更によりイグニス所属の従業員の一部（エンジニア等）がグループ会社に転籍しています。

※2：2018.9期4Qからの主な減少要因は連結子会社であった株式会社Mellowの連結範囲除外の影響です。

※3：2020.9期2Qからの主な減少要因は、ゲーム事業譲渡に伴い、一部従業員が譲渡先に移籍したことによるものです。

用語解説

VR (Virtual Reality)

人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが実質的に現実のように感じられる環境を人工的に作り出す技術の総称。身体に装着する機器や、コンピュータにより合成した映像・音響などの効果により、3次元空間内に利用者の身体を投影し、空間への没入（immersion）を生じさせる。

（出典：IT用語辞典 e-words）

HMD (Head Mounted Display)

ゴーグルやヘルメット、眼鏡のような形状の、頭部に装着して使用する表示装置。目を覆うように頭部に固定すると眼前の小さな表示面にコンピュータなどから送られてきた像が投影され、見ることができる。映像をヘッドマウントディスプレイに表示するシステムはVRを実現する方式の中でも特に有望なものとして近年急激に発展し、大きな注目を集めている。

（出典：IT用語辞典 e-words）

IP (Intellectual Property)

人間の知的活動によって創作された表現や、商業上有用になりうる情報や標識など、財産性のある無体物。法律で権利保護の対象となっているものには著作物や特許、商標、意匠、肖像などがある。

（出典：IT用語辞典 e-words）

AI (Artificial Intelligence)

人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断をコンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。

（出典：IT用語辞典 e-words）

IoT (Internet of Things)

コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

（出典：IT用語辞典 e-words）

ファクトリーオートメーション (Factory Automation)

工場の様々な作業や工程を機械や情報システムを用いて自動化すること。また、そのために用いられる機器やシステム。（出典：IT用語辞典 e-words）

SaaS (Software as a Service)

ソフトウェアを通信ネットワークなどを通じて提供し、利用者が必要なものを必要なときに呼び出して使うような利用形態のこと。サービス型ソフトウェアとも呼ばれる。

（出典：IT用語辞典 e-words）

将来見通しに関する注意事項 及び投資家・株主様への留意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは現在における見込、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

適時開示やプレスリリース、決算説明資料等の公開情報に記載された内容以外については、基本的に個別での回答は控えさせていただきます。

東京証券取引所を通じた適時開示や当社の公式ホームページ・公式SNS・公式動画の情報以外で、インターネット上に展開されている「株式掲示板」、「各種SNS」、「ブログ」内における書き込み内容には、当社の公式発表ではない情報も含まれています。

そのため、これら情報に関しましても基本的に回答は控えさせていただきます。

IGNIS